

## 次の目標はインターハイ

**県** 中学総体バドミントン女子ダブルスで2連覇を果たし、関東大会への切符を手にした新井さんと磯野さん。

関東大会では、初戦敗退と悔しい結果に終わりましたが、磯野さんは「負けていても前向きな気持ちでプレーすることができた」と言います。

2人がバドミントンを始めたのは小学3年生のとき。新井さんは「姉の影響です」と、磯野さんは「友だちに誘われて」とバドミントンを始めたきっかけを語ります。

小学5年生からペアを組み、息の合っ

たプレーで各大会では好成績を残し、コンビネーションに磨きをかけてきました。

週5日、夜遅くまでの練習に励み、休む間がなく大変でも、2人は「2人で考えた作戦が成功したときが楽しいです」と話し、バドミントンを心から楽しんでいきます。

来年、高校生になる2人の目標は、「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)で上位を狙います」と言い、「シングルスでのプレーや基礎をもっと強化して頑張りたいです」と意気込みを語ってくれました。



群馬県中学校総合体育大会バドミントン大会女子ダブルスで優勝

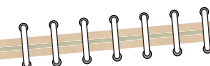
あらい さつき **新井 爽月**さん(中大塚)    いその ゆうか **磯野 友香**さん(中大塚)

### Profile

2008年藤岡市生まれ。西中学校3年生。小学5年生からペアを組み、息の合ったプレーで県中学総体2連覇を果たす。

知って得する♪

## 耳より情報



支援や配慮を受けやすくする  
「要配慮者用バンダナ」

災害時に障害者や妊産婦などの要配慮者向けに、「要配慮者用バンダナ」を作成しました。これにより、避難所などで必要な支援や配慮が受けやすくなります。四隅に「支援が必要です」「体が不自由です」「目が不自由です(角にボタンあり)」「耳が不自由です」のメッセージとイラスト・ピクトグラムがデザインされています。各地域づくりセンター、小・中学校に配備します。災害時にこのバンダナを付けた人を見かけた際は、積極的な声掛けなど、迅速な支援のため、みんなで協力していきましょう。

問い合わせ 地域安全課(☎27444)

